

事例NO. 77

事例キーワード

事業名	河川改修事業	自然環境の確保、発生材の活用
事業担当機関	北秋田地域振興局建設部 企画・建設課 河川砂防班	
事業期間	平成27年～平成37年	
実施場所	下内川（大館市沼館）	
事業概要	事業費	（全体事業費）1,288百万円
	工事概要	掘削V=154,444m <sup>3</sup> 、築堤L=3,100m、護岸A=18,267m <sup>2</sup> 、排水樋管5基、堰1基
	事業の目的	下内川は、平成25年8月の豪雨により破堤が生じ、大館市沼館地区では床上51戸、床下33戸の浸水被害が生じた。また近年では平成21年及び平成23年にも越水による浸水被害があり、恒常的な浸水被害が生じている。過去から頻繁に浸水被害が生じている地域であることから、河道掘削及び築堤護岸等による河川改修を実施し、浸水被害の解消を図り、早期の整備効果の発現を目指す。
環境配慮の内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・コンクリートブロック護岸は植生可能なブロックを使用し、それ以外は芝を張ることにより植生を図る。</li><li>・現況河道を極力活用した線形計画とすることにより、影響範囲が小さくなる計画としている。</li><li>・横断計画は生物の多様性に配慮して現況河床に極力手をかけない横断計画とし、現況の滞筋を極力残し、魚類等の生育場となる瀬や淵などを保全する計画としている。</li><li>・洗掘防止箇所に設置する根固め工には、工事で発生する既設コンクリート取り壊し材を活用した袋詰根固工を計画し省資源、省エネルギーに配慮した建設資材の活用に配慮している。</li></ul>	
施工後の状況	現在、設計段階であることから、工事施工着手時から魚類等、河川環境への配慮を進めていく。	

図面、写真、説明



図面、写真、説明

## 河川標準断面図

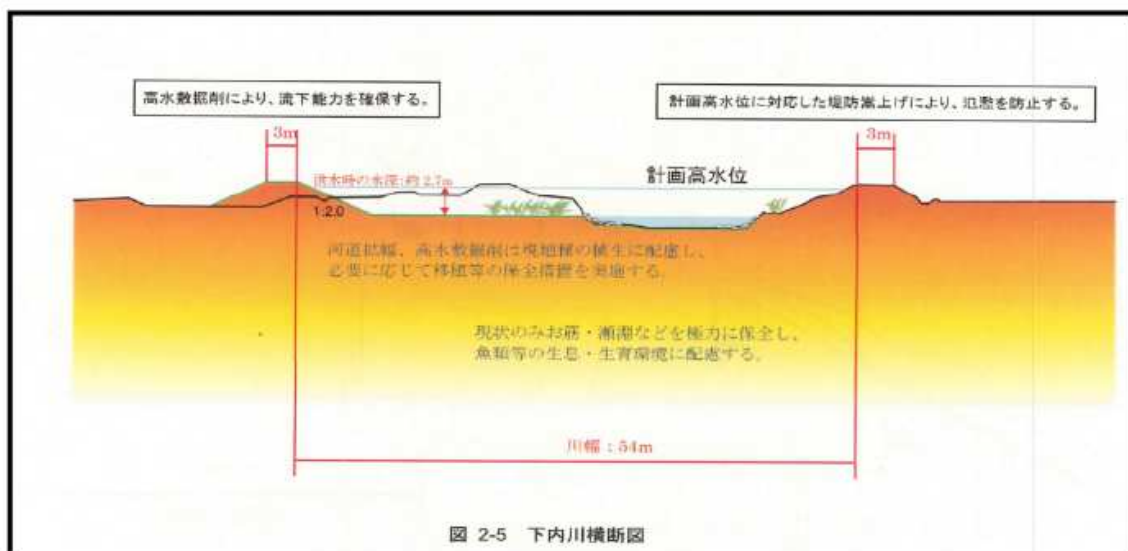
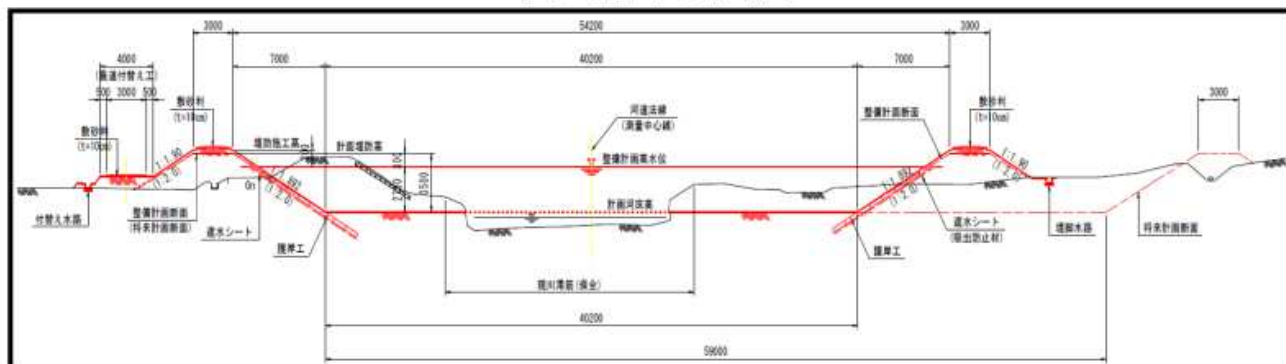


图 2-5 下内川横断面图

局所洗掘箇所

